

証券コード 7451
平成25年6月10日

株 主 各 位

東京都大田区平和島六丁目1番1号
三菱食品株式会社
代表取締役社長 井 上 彪

平成24年度定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社平成24年度定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討くださいますして、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成25年6月26日（水曜日）午後5時40分までに到着するよう折返しご送付くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成25年6月27日（木曜日）午前10時
2. 場 所 東京都大田区平和島六丁目1番1号
東京流通センター アネックス9階・当社会議室
(末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。)

3. 会議の目的事項

- 報告事項
1. 平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
第2号議案 取締役7名選任の件
第3号議案 監査役3名選任の件

招集ご通知

事業報告

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

4. 招集にあたっての決定事項

法令及び当社定款第16条の規定に基づき、以下の事項については、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <http://www.mitsubishi-shokuhin.com/>）に掲載しておりますので、ご覧ください。

(1) 連結計算書類の連結注記表

(2) 計算書類の個別注記表

本招集ご通知の提供書面は、監査報告を作成するに際し、監査役及び会計監査人が監査をした連結計算書類及び計算書類の一部であります。

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <http://www.mitsubishi-shokuhin.com/>）に掲載させていただきます。

(提供書面)

## 事業報告

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

### 1. 企業集団の現況

#### (1) 当事業年度の事業の状況

##### ① 事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等により緩やかな景気回復の兆しが見られ、昨年末の政権交代以降の円安・株高基調を背景に輸出企業を中心に景気回復への期待感が高まりつつありますが、原材料価格の高騰や不安定な雇用環境等により、依然として不透明な状況であります。

食品流通業界においては、国内株式市場の持ち直し等から個人消費が緩やかに改善しつつあるものの、生活者の生活防衛意識は依然として根強く、食品や日用品については低価格志向が継続し、それぞれのライフスタイルによる価値観・嗜好性に基づいた購買行動を取る等、マーケットの多様化が進んでおります。

このような状況下、当社グループは、昨年5月に公表いたしました「中期経営計画2015」に基づき、取引先様への機能提供を強化するとともに、提案力・課題解決力を向上させることで、取引の拡大・深耕を図ってまいりました。

成長戦略としては、デリカ・生鮮事業への取組みを積極的に進め、さらに中国におけるスーパーマーケット事業へ参画いたしました。また食品のオンライン販売子会社として「株式会社FOOZA（フーザ）」を昨年10月に設立するとともに、通販事業対応の物流センターを新設し、今後の成長に向けた取組みを開始いたしました。

経営基盤の強化としては、迅速な意思決定を行うべく組織のフラット化を実施し、徹底的な効率化と戦略的な経営資源の配分を実現すべく物流拠点の統廃合や不稼働資産等の売却を実行してまいりました。さらには、機能強化とローコストオペレーションの追求のため、全社ベースで業務プロセスの再構築を進め、機動的な組織体制の確立や重点分野への人材投入等、大きな変革を目指してまいります。

##### ② 当連結会計年度の業績

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は2兆3,188億73百万円となりました。品種別売上高の状況は、次の通りであります。

招集ご通知

事業報告

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

前年度に実施した明治屋商事株式会社、株式会社サンエス及び株式会社フードサービ  
スネットワークとの経営統合やコンビニエンスストアとの取引拡大等の影響により、菓  
子類、冷凍・チルド類を中心に増加いたしました。

【品種別売上高】

| 品種別     |  | 売上高       | 構成比   |
|---------|--|-----------|-------|
|         |  | 百万円       | %     |
| 缶詰類     |  | 27,578    | 1.2   |
| 調味料類    |  | 249,193   | 10.7  |
| 麺・乾物類   |  | 153,241   | 6.6   |
| 嗜好品・飲料類 |  | 262,196   | 11.3  |
| 菓子類     |  | 249,820   | 10.8  |
| 冷凍・チルド類 |  | 834,150   | 36.0  |
| 酒類      |  | 441,775   | 19.1  |
| その他     |  | 100,917   | 4.3   |
| 合計      |  | 2,318,873 | 100.0 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

利益面につきましては、経常利益は187億35百万円となりました。当期純利益は、特  
別損失において経営統合関連費用や減損損失が発生いたしましたが、一方で保有株式の  
見直しや不稼働資産等の売却を進めた結果、特別利益として投資有価証券売却益、固定  
資産売却益を計上したことにより、114億72百万円となりました。

③ 資金調達の状況

当連結会計年度は、増資又は社債発行などによる特別な資金調達は行っておりません。

## (2) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

## ① 企業集団の財産及び損益の状況の推移

| 区 分        | 平成21年度    | 平成22年度    | 平成23年度    | 平成24年度(当期) |
|------------|-----------|-----------|-----------|------------|
|            | 平成21年12月期 | 平成23年3月期  | 平成24年3月期  | 平成25年3月期   |
| 売上高(百万円)   | 1,384,750 | 1,838,343 | 2,151,941 | 2,318,873  |
| 経常利益(百万円)  | 11,052    | 15,681    | 19,795    | 18,735     |
| 当期純利益(百万円) | 4,741     | 7,162     | 12,282    | 11,472     |
| 1株当たり当期純利益 | 110円31銭   | 166円65銭   | 232円70銭   | 200円78銭    |
| 総資産(百万円)   | 426,291   | 375,732   | 589,384   | 606,945    |
| 純資産(百万円)   | 75,640    | 81,070    | 109,129   | 119,831    |
| 1株当たり純資産額  | 1,728円62銭 | 1,857円72銭 | 1,880円07銭 | 2,076円77銭  |

- (注) 1. 百万円単位の記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。
2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数に基づいて算出しております。
3. 各連結会計年度の主な変動要因は次のとおりであります。
- 平成21年度…フルライン体制の更なる強化を図るべく、北海道及び東北にフルライン事務所を開設し、また、㈱リョーショクリカーに酒類カンパニー3社を統合し、酒類事業の全国体制を整備いたしました。夏期の天候不良や当該統合に伴う決算期変更の影響等により、売上高は微減となりましたが、採算管理の徹底やローコスト・オペレーションの推進により、経常利益、当期純利益は増加いたしました。
- 平成22年度…決算期の変更により、平成22年1月1日から平成23年3月31日までの15ヶ月間の変則決算でありました。猛暑や酒類子会社の統合に伴う決算期変更の影響等から飲料、冷凍食品、酒類等の売上高が伸長し、さらに物流費を中心とした販管費削減の推進により、経常利益も増加いたしました。一方、特別損失に東日本大震災による災害損失を1,583百万円計上いたしました。
- 平成23年度…平成23年7月1日に明治屋商事株式会社、株式会社サンエス及び株式会社フードサービスネットワークと株式交換による経営統合を実施したことにより統合各社の9ヶ月分の業績が加わり、さらに震災後の備蓄需要等もあり、売上高、経常利益ともに増加いたしました。当期純利益につきましても、経営統合関連費用等の特別損失がありましたが、統合会社の繰越欠損金承継による法人税負担の軽減等もあり、増加いたしました。
- 平成24年度…前記「(1)当事業年度の事業の状況 ①事業の経過及び成果」に記載のとおりであります。

## ② 当社の財産及び損益の状況の推移

| 区 分        | 平成21年度<br>平成21年12月期 | 平成22年度<br>平成23年3月期 | 平成23年度<br>平成24年3月期 | 平成24年度(当期)<br>平成25年3月期 |
|------------|---------------------|--------------------|--------------------|------------------------|
| 売上高(百万円)   | 1,078,626           | 1,341,571          | 1,510,966          | 2,208,705              |
| 経常利益(百万円)  | 8,341               | 10,187             | 13,428             | 16,926                 |
| 当期純利益(百万円) | 2,336               | 3,549              | 10,365             | 13,009                 |
| 1株当たり当期純利益 | 54円35銭              | 82円59銭             | 196円39銭            | 227円67銭                |
| 総資産(百万円)   | 381,747             | 336,742            | 486,652            | 583,222                |
| 純資産(百万円)   | 73,040              | 74,993             | 99,147             | 111,763                |
| 1株当たり純資産額  | 1,699円39銭           | 1,745円04銭          | 1,735円13銭          | 1,955円93銭              |

- (注) 1. 百万円単位の記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。  
 2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除した株式数に基づいて算出しております。  
 3. 平成22年度は決算期変更により、平成22年1月1日から平成23年3月31日までの15ヶ月間の変則決算となっております。

## (3) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社との関係

| 親会社名     | 親会社の出資比率 | 当社との関係 |
|----------|----------|--------|
| 三菱商事株式会社 | 60.94%   | 仕 入 先  |

- (注) 上記の出資比率は、間接所有(大日本明治製糖(株)、三菱商事パッケージング(株)、ペットライン(株))による株数を含めて算出したものであります。

## ② 重要な子会社の状況

| 会 社 名           | 当社の出資比率<br>% | 主 要 な 事 業 内 容 |
|-----------------|--------------|---------------|
| 株式会社ファインライフ     | 100.00       | 低温食品卸売業       |
| 株式会社関東リョーシヨク    | 100.00       | 加工食品卸売業       |
| 株式会社新潟リョーシヨク    | 100.00       | 〃             |
| 株式会社四国リョーシヨク    | 100.00       | 〃             |
| 株式会社R J オグラ     | 100.00       | 菓子卸売業         |
| 株式会社リョーシヨクペットケア | 100.00       | ペットフード卸売業     |
| 株式会社北陸リョーシヨク    | 100.00       | 加工食品卸売業       |
| 関東明治屋商事株式会社     | 100.00       | 〃             |
| 株式会社福島リョーシヨク    | 100.00       | 〃             |
| 株式会社千葉リョーシヨク    | 100.00       | 〃             |

### (4) 企業集団が対処すべき課題

次期の見通しにつきましては、国内においては政権交代を期に緩やかな景気回復が見られるものの、原油価格や原材料価格の高騰、消費税増税による個人消費への影響など、先行きの不透明感が払拭しきれない状況が続くものと思われまます。

食品流通業界におきましては、人口減少や少子高齢化の進展による国内市場の構造的な縮小傾向のなか、将来不安による生活者の低価格志向は継続する一方、女性の社会進出や単身世帯の増加、震災以降の生活者の意識の変化に伴い、ライフスタイルの変化、多様化はますます進んでいくものと思われまます。

当社グループは、このような状況下、取引先様のニーズ、マーケットの変化に迅速かつ的確に対応するため、求められる機能・役割を十分に認識し、絶えず革新し続ける一方、既存ビジネスの領域を超え、原材料調達からものづくり、売り場提案までの総合的な戦略を推進してまいります。

また、本年4月に実施した組織改編により、「中期経営計画2015」の実現に向けた戦略をスピード感をもって実行し、併せて定型業務の集約化・効率化により、経営機能、戦略機能、営業機能の強化とローコストオペレーションの徹底を目指してまいります。

(5) 主要な事業内容

当社グループは、加工食品、低温食品、酒類、菓子の卸売を主な事業内容とし、更に物流事業及びその他サービス等の事業活動を展開しております。

(6) 主要な事業所

① 当社の主要な事業所

本 社：東京都大田区平和島六丁目1番1号

支 社：北海道・東北(宮城)・関東(東京)・中部(愛知)・関西(大阪)・中四国(広島)・九州(福岡)

② 子会社の主要な事業所

(株)R J オグラ (札幌市)

(株)福島リョーシヨク (福島県岩瀬郡)

(株)関東リョーシヨク (栃木県芳賀郡)

関東明治屋商事(株) (前橋市)

(株)千葉リョーシヨク (千葉市)

(株)ファインライフ (東京都大田区)

(株)リョーシヨクペットケア (横浜市)

(株)新潟リョーシヨク (新潟市)

(株)北陸リョーシヨク (金沢市)

(株)四国リョーシヨク (高松市)

(7) 従業員の状況

① 企業集団の従業員の状況

|     | 従業員数    | 前期末比増減 |
|-----|---------|--------|
| 合 計 | 5,757 名 | △110 名 |

(注) 従業員数は就業人員であります。



## ② 当社の従業員の状況

| 区 分    | 従業員数  | 前期末比増減 | 平均年齢 | 平均勤続年数 |
|--------|-------|--------|------|--------|
|        | 名     | 名      | 歳    | 年      |
| 男 性    | 3,240 | 645    | 43.6 | 17.4   |
| 女 性    | 1,090 | 140    | 33.1 | 9.8    |
| 合計又は平均 | 4,330 | 785    | 41.0 | 15.5   |

(注1) 従業員数は就業人員であります。

(注2) 従業員数の増加の主な要因は、(株)サンエス、(株)フードサービスネットワーク及び(株)リョーカジャパンとの合併によるものであります。

## (8) 主要な借入先

平成25年3月31日現在の長期借入金、短期借入金はありません。

## (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

当社は、平成24年4月1日付で連結子会社である株式会社サンエス、株式会社フードサービスネットワーク及び株式会社リョーカジャパンを吸収合併いたしました。

## 2. 会社の現況

### (1) 株式の状況（平成25年3月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 140,000,000株
- ② 発行済株式の総数 58,125,490株
- ③ 株主数 5,604名

### ④ 大株主（上位10名）

| 株 主 名             | 持 株 数    | 持株比率   |
|-------------------|----------|--------|
| 三菱商事株式会社          | 35,416千株 | 61.98% |
| 株式会社ニチレイ          | 955      | 1.67   |
| 日本水産株式会社          | 809      | 1.41   |
| 味の素株式会社           | 803      | 1.40   |
| 日清食品ホールディングス株式会社  | 803      | 1.40   |
| 株式会社マルハニチロ食品      | 686      | 1.20   |
| 麒麟麦酒株式会社          | 680      | 1.19   |
| サントリービア&スピリッツ株式会社 | 669      | 1.17   |
| ハウス食品株式会社         | 603      | 1.05   |
| テーブルマーク株式会社       | 600      | 1.05   |

（注）持株比率は自己株式（984,445株）を控除して計算しております。

## (2) 新株予約権等の状況（平成25年3月31日現在）

- ① 当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況  
該当事項はありません。
- ② 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に対し交付した新株予約権の状況  
該当事項はありません。

## (3) 会社役員 の 状況

## ① 取締役及び監査役の状況（平成25年3月31日現在）

| 会社における地位         | 氏 名     | 担当及び重要な兼職の状況                                                                   |
|------------------|---------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役会長          | 中 野 勘 治 |                                                                                |
| 代表取締役社長          | 井 上 彪   |                                                                                |
| 取 締 役            | 中 嶋 隆 夫 | 加食事業本部長                                                                        |
| 取 締 役            | 今 村 忠 如 | 低温事業本部長                                                                        |
| 取 締 役            | 西 岡 良 三 | 職能部門担当役員(兼)コンプライアンス担当役員<br>(株)ファイネット取締役                                        |
| 取 締 役            | 島 田 美 幸 | 菓子事業本部長                                                                        |
| 取 締 役            | 森 山 透   | 三菱商事(株)常務執行役員生活産業グループCEO<br>(株)ローソン取締役                                         |
| 監 査 役<br>( 常 勤 ) | 川 口 和 哉 |                                                                                |
| 監 査 役<br>( 常 勤 ) | 國 分 正 道 |                                                                                |
| 監 査 役            | 増 一 行   | 三菱商事(株)生活産業グループ管理部長<br>日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)監査役<br>日東富士製粉(株)監査役<br>日本食品化工(株)監査役 |

- (注) 1. 取締役 森山透氏は社外取締役であります。  
 2. 監査役 川口和哉氏及び増一行氏は社外監査役であります。  
 3. 三菱商事(株)は当社の親会社であり、当社は同社及び日東富士製粉(株)との間に商品の仕入等の取引関係があります。  
 4. 当社は(株)ローソン及び日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)との間に商品の販売等の取引関係があります。

5. 上記のほか、当社と社外取締役及び社外監査役の重要な兼職先との間に記載すべき関係はありません。
6. 監査役 川口和哉氏、國分正道氏及び増一行氏は、長年にわたり経理業務の経験を重ねてきており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
7. 当事業年度中に退任した取締役及び監査役は、次のとおりであります。

|       |     |           |                   |
|-------|-----|-----------|-------------------|
| 取締役   | 原 田 | 努         | 平成24年 6 月28日      |
| 取締役   | 福 原 | 淑 文       | 平成24年 6 月28日      |
| 取締役   | 磯 野 | 謙 次       | 平成24年 6 月28日      |
| 常任監査役 | 野 村 | 裕         | 平成24年 6 月28日      |
| 監 査 役 | 樋 口 | 一 夫 (弁護士) | 平成24年12月22日 (逝 去) |
| 取 締 役 | 森 山 | 透         | 平成25年 3 月31日      |

② 取締役及び監査役に支払った報酬等の総額

| 区 分   | 支 給 人 員 | 支 給 額  |
|-------|---------|--------|
| 取 締 役 | 10名     | 336百万円 |
| 監 査 役 | 5名      | 59百万円  |
| 合 計   | 15名     | 395百万円 |

- (注) 1. 株主総会の決議による取締役及び監査役報酬限度額は、取締役報酬が年額500百万円以内（うち社外取締役の報酬額は年額20百万円以内）、監査役報酬が年額100百万円以内であります。(平成19年3月29日定時株主総会決議)
2. 当社は使用人兼務取締役がおりませんので、取締役の支給額には、使用人分給与は含まれておりません。
  3. 支給額のうち、社外役員（5名）の報酬等の総額は42百万円であります。
  4. 当事業年度末現在の人員数は取締役7名、監査役3名であります。

## ③ 社外取締役及び社外監査役の主な活動状況

| 区分  | 氏名   | 主な活動状況                                                                                                                       |
|-----|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 | 森山透  | 当事業年度開催の定例取締役会12回のうち7回に出席し、主に企業経営などの分野における豊かな経験と高い見識に基づき、客観的で広範かつ高度な視野から、議案・審議等につき必要な発言を適宜行っております。                           |
| 監査役 | 川口和哉 | 監査役就任以降開催の定例取締役会10回及び定例監査役会10回の全てに出席し、常勤監査役としてガバナンスのあり方と運営状況を確認し、必要に応じ、当社のコンプライアンス体制の構築・維持についての発言を行っております。                   |
| 監査役 | 樋口一夫 | 平成24年12月22日退任までに開催された定例取締役会9回のうち4回、定例監査役会9回のうち4回に出席し、弁護士活動を通じて培われた知識・経験に基づき、客観的・中立的な立場から、当社のコンプライアンス体制の構築・維持についての発言を行っております。 |
| 監査役 | 増一行  | 当事業年度開催の定例取締役会12回のうち11回及び定例監査役会12回の全てに出席し、必要に応じ、当社のコンプライアンス体制の構築・維持についての発言を行っております。                                          |

## ④ 責任限定契約の内容

当社と社外監査役樋口一夫氏は、同氏の在任中、会社法第427条第1項に定める責任限定契約を締結しております。責任限定契約の内容の概要は、次のとおりであります。社外監査役は、会社法第423条第1項の責任について、

イ. その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないとき、

ロ. 会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として、当社に対して損害賠償責任を負う。

## (4) 会計監査人の状況

① 名称 有限責任監査法人トーマツ

② 報酬等の金額

|                                           |       |
|-------------------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                       | 80百万円 |
| 当社及び当社子会社が会計監査人に支払うべき金銭<br>その他の財産上の利益の合計額 | 80百万円 |

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、上記の金額にはこれらの合計額を記載しております。

③ 解任又は不再任の決定の方針

当社では、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

(5) 内部統制システム（業務の適正確保体制）の整備に関する基本方針

当社は、内部統制システム（業務の適正確保体制）を整備し運用することが経営上重要な課題であると考え、取締役会において以下の基本方針を決定し、業務の適正性、有効性及び効率性を確保し、企業価値の維持・増大につなげ、社会的信頼の獲得と卸機能のさらなる拡充と業績の向上に努めるものであります。

本方針は、当社の全役職員（顧問、嘱託、出向者を含む）に適用されます。また、業務委託契約及び派遣契約等に基づき、当社の事業所に常駐し、勤務する者にもそれぞれ準用されます。

- ① 取締役及び従業員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制  
イ.業務の適正性、有効性及び効率性を確保し、企業価値の維持・向上を図るために、リスクマネジメント委員会、コンプライアンス委員会、情報セキュリティ委員会、適時開示委員会を設置する。

ロ.当社は、企業理念を着実に遂行することを目的とし、遵守、留意すべき事項として「企業行動規範」及び「役職員行動規範」を制定。また、コンプライアンスの遂行、監督を目的として「コンプライアンス行動指針」を制定、同指針に基づき「コンプライアンス委員会」を設置する。

ハ.法令及び定款違反その他コンプライアンス上問題がある事実についての発見者は、コンプライアンス行動指針に基づく方法により、社内及び社外（顧問弁護士）に設置する相談窓口にて報告を行う。当社は、通報内容を秘守し、通報者に対する不利益な取扱いを行わない。

ニ.監査部は、業務執行部門から独立するものとし、当社における業務活動の適正性及び効率性につき監視を行う。

ホ.監査役は独立した立場から、内部統制システムの整備・運用状況を含め、取締役の職務執行を監査する。

- ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務執行に係る情報等については、法令・社内規程等に基づき適切に保存・管理し、これらを閲覧できる体制を構築する。

- ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制
- イ.企業活動に関わるリスクについて把握するとともに、それぞれのリスクに対しリスクの発生を未然に防止するための手続、リスクの管理、発生したリスクへの対処方法を規定した社内規程を制定し、リスクコントロールを図る。
  - ロ.有事の際の損失の拡大を防止するため、迅速かつ適切な情報伝達と緊急体制を整備するとともに、再発防止策を講じる。
- ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
- イ.取締役の職務権限を明確にするとともに、職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制の基礎として、取締役会・経営会議等を開催し、経営上の基本方針及び重要事項の決定と業務執行の監督を行う。
  - ロ.取締役会の決定に基づく業務執行については、職制規程、業務分掌規程及び職務権限規程等においてそれぞれの執行手続の詳細について定める。
- ⑤ 当社企業グループにおける業務の適正を確保するための体制
- 当社及び企業グループ各社における独立性を尊重しつつ、株主権の適正な行使を旨として、取締役や監査役の派遣等を通じて緊密な連携を図り、グループ各社間での内部統制に関する情報の伝達、共有化等が効率的に行える体制を構築する。
- ⑥ 財務報告の適正性を確保するための体制
- 当社企業グループの財務報告の適正性を確保するため、金融商品取引法に基づく内部統制報告書の有効かつ適切な提出に向け、内部統制システムを構築するとともに、そのシステムが適正に機能することを継続的に評価し、必要に応じて是正を行う。
- ⑦ 監査役を補助すべき従業員に関する事項及び当該従業員の取締役からの独立性に関する事項
- イ.取締役は、監査役の求めにより、監査役の職務を補助する従業員（監査役補助者）として、適切な人材を配置し、設備・施設を設置するとともに予算を策定する。
  - ロ.取締役は、監査役補助者の適切な職務の遂行のため、人事（評価、異動等）に関しては、監査役の同意を得るものとする。
- ⑧ 取締役及び従業員が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
- イ.取締役は、会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したときは、直ちに、監査役会に報告する。
  - ロ.監査役が、取締役会のほか重要な会議へ出席するとともに関係書類の閲覧を行える体制を整備する。また、取締役及び従業員は、会社経営及び事業運営上の重要事項並びに業務執行の状況及び結果について、監査役に報告する。この重要事項には、コンプ

ライアンス及びリスクに関する事項その他内部統制に関する事項を含む。

- ハ.監査役への報告が、誠実に洩れなく行われるため、書簡、メール、面談等により報告が十分になされる体制を整備する。
- ⑨ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制
  - イ.代表取締役と会計監査人は、監査役と定期的な面談を行う。
  - ロ.取締役は、監査役の職務の適切な遂行のため、監査役と子会社等の関係者（取締役、業務執行者、監査役、内部監査部門等）との意思疎通、情報の収集・交換が行える体制を整備する。
  - ハ.取締役は、監査役の職務の遂行に当たり、監査役が、必要に応じ弁護士等外部専門家との連携を図れるようにする等、監査環境の整備に努める。



# 連結貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 科 目          | 金 額            | 科 目                | 金 額            |
|--------------|----------------|--------------------|----------------|
| 資 産 の 部      |                | 負 債 の 部            |                |
| <b>流動資産</b>  | <b>481,130</b> | <b>流動負債</b>        | <b>464,213</b> |
| 現金及び預金       | 2,551          | 支払手形及び買掛金          | 406,796        |
| 受取手形及び売掛金    | 294,440        | リース債務              | 1,789          |
| 有価証券         | 42,000         | 未払法人税等             | 6,156          |
| 商品及び製品       | 52,278         | 賞与引当金              | 2,212          |
| 原材料及び貯蔵品     | 22             | 役員賞与引当金            | 64             |
| 繰延税金資産       | 3,089          | その他の流動負債           | 47,193         |
| 未収入金         | 50,075         | <b>固定負債</b>        | <b>22,900</b>  |
| 短期貸付金        | 35,520         | リース債務              | 4,625          |
| その他の流動資産     | 2,995          | 繰延税金負債             | 248            |
| 貸倒引当金        | △1,843         | 退職給付引当金            | 13,496         |
| <b>固定資産</b>  | <b>125,814</b> | 役員退職慰労引当金          | 349            |
| (有形固定資産)     | (74,705)       | 資産除去債務             | 1,797          |
| 建物及び構築物      | 26,824         | その他の固定負債           | 2,382          |
| 機械装置及び運搬器具   | 3,150          | <b>負債合計</b>        | <b>487,113</b> |
| 器具及び備品       | 1,014          | 純資産の部              |                |
| 土地           | 38,048         | <b>株主資本</b>        | <b>115,314</b> |
| リース資産        | 5,535          | 資本金                | 10,630         |
| 建設仮勘定        | 131            | 資本剰余金              | 33,244         |
| (無形固定資産)     | (6,674)        | 利益剰余金              | 73,989         |
| のれん          | 4,043          | 自己株式               | △2,549         |
| ソフトウェア       | 2,146          | <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>3,354</b>   |
| その他の無形固定資産   | 484            | その他有価証券評価差額金       | 3,371          |
| (投資その他の資産)   | (44,434)       | 繰延ヘッジ損益            | 1              |
| 投資有価証券       | 22,674         | 為替換算調整勘定           | △18            |
| 長期貸付金        | 16             | <b>少数株主持分</b>      | <b>1,163</b>   |
| 繰延税金資産       | 3,479          | <b>純資産合計</b>       | <b>119,831</b> |
| その他の投資その他の資産 | 20,226         | <b>負債純資産合計</b>     | <b>606,945</b> |
| 貸倒引当金        | △1,962         |                    |                |
| <b>資産合計</b>  | <b>606,945</b> |                    |                |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

招集  
通知

事業報告

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

## 連結損益計算書

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目            | 金     | 額         |
|----------------|-------|-----------|
| 売上高            |       | 2,318,873 |
| 売上原価           |       | 2,136,181 |
| 売上総利益          |       | 182,692   |
| 販売費及び一般管理費     |       | 165,645   |
| 営業利益           |       | 17,046    |
| 営業外収益          |       |           |
| 受取利息           | 151   |           |
| その他の営業外収益      | 3,578 | 3,730     |
| 営業外費用          |       |           |
| 支払利息           | 163   |           |
| その他の営業外費用      | 1,877 | 2,041     |
| 経常利益           |       | 18,735    |
| 特別利益           |       |           |
| 投資有価証券売却益      | 1,252 |           |
| 固定資産売却益        | 1,142 |           |
| その他の特別利益       | 29    | 2,424     |
| 特別損失           |       |           |
| 減損損失           | 1,027 |           |
| 経営統合関連費用       | 938   |           |
| 固定資産売却損        | 249   |           |
| 投資有価証券評価損      | 228   |           |
| その他の特別損失       | 72    | 2,516     |
| 税金等調整前当期純利益    |       | 18,643    |
| 法人税・住民税及び事業税   | 7,893 |           |
| 法人税等調整額        | △547  | 7,346     |
| 少数株主損益調整前当期純利益 |       | 11,297    |
| 少数株主利益         |       | △175      |
| 当期純利益          |       | 11,472    |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                               | 株 主 資 本 |           |           |         |             |
|-------------------------------|---------|-----------|-----------|---------|-------------|
|                               | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 合 計 |
| 平成24年4月1日 残高                  | 10,630  | 33,244    | 65,087    | △2,548  | 106,413     |
| 連結会計年度中の変動額                   |         |           |           |         |             |
| 剰 余 金 の 配 当                   |         |           | △2,571    |         | △2,571      |
| 当 期 純 利 益                     |         |           | 11,472    |         | 11,472      |
| 自 己 株 式 の 取 得                 |         |           |           | △0      | △0          |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額(純額) |         |           |           |         |             |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | -       | -         | 8,901     | △0      | 8,900       |
| 平成25年3月31日 残高                 | 10,630  | 33,244    | 73,989    | △2,549  | 115,314     |

|                               | その他の包括利益累計額      |             |              |                   | 少数株主持分 | 純資産合計   |
|-------------------------------|------------------|-------------|--------------|-------------------|--------|---------|
|                               | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 為替換算<br>調整勘定 | その他の包括<br>利益累計額合計 |        |         |
| 平成24年4月1日 残高                  | 1,042            | -           | △25          | 1,016             | 1,699  | 109,129 |
| 連結会計年度中の変動額                   |                  |             |              |                   |        |         |
| 剰 余 金 の 配 当                   |                  |             |              |                   |        | △2,571  |
| 当 期 純 利 益                     |                  |             |              |                   |        | 11,472  |
| 自 己 株 式 の 取 得                 |                  |             |              |                   |        | △0      |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額(純額) | 2,329            | 1           | 7            | 2,338             | △536   | 1,801   |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | 2,329            | 1           | 7            | 2,338             | △536   | 10,702  |
| 平成25年3月31日 残高                 | 3,371            | 1           | △18          | 3,354             | 1,163  | 119,831 |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

招集ご通知

事業報告

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

# 貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位：百万円)

| 科 目          | 金 額      | 科 目             | 金 額     |
|--------------|----------|-----------------|---------|
| 資 産 の 部      |          | 負 債 の 部         |         |
| 流 動 資 産      | 463,529  | 流 動 負 債         | 451,691 |
| 現金及び預り金      | 2,204    | 支払手形            | 85      |
| 受取手形         | 2,225    | 買掛金             | 379,120 |
| 売掛金          | 290,537  | リース債            | 1,481   |
| 有価証券         | 42,000   | 未払金             | 35,902  |
| 商標延税         | 42,796   | 未払法人税等          | 5,688   |
| 繰延税金資産       | 2,396    | 預り金             | 23,148  |
| 短期貸付         | 38,441   | 賞与引当金           | 1,937   |
| 未収入金         | 43,627   | 役員賞与引当金         | 61      |
| その他の流動資産     | 2,883    | その他の流動負債        | 4,266   |
| 貸倒引当金        | △3,583   | 固 定 負 債         | 19,767  |
| 固 定 資 産      | 119,693  | リース債            | 4,094   |
| (有形固定資産)     | (60,099) | 退職給付引当金         | 11,234  |
| 建物           | 21,795   | 資産除去債務          | 1,592   |
| 構築物          | 450      | その他の固定負債        | 2,846   |
| 機械及び装置       | 1,333    | 負 債 合 計         | 471,458 |
| 車両及び運搬具      | 367      | 純 資 産 の 部       |         |
| 器具及び備品       | 718      | 株 主 資 本         | 108,667 |
| 土地           | 30,588   | (資本金)           | 10,630  |
| リース資産        | 4,713    | (資本剰余金)         | 33,671  |
| 建設仮勘定        | 131      | 資本準備金           | 10,400  |
| (無形固定資産)     | (6,412)  | その他資本剰余金        | 23,270  |
| のれん          | 4,044    | (利益剰余金)         | 66,915  |
| ソフトウェア       | 1,959    | 利益準備金           | 628     |
| その他の無形固定資産   | 407      | その他利益剰余金        | 66,287  |
| (投資その他の資産)   | (53,181) | 圧縮記帳積立金         | 765     |
| 投資有価証券       | 20,075   | 別途積立金           | 51,200  |
| 関係会社株        | 5,341    | 繰越利益剰余金         | 14,322  |
| 長期貸付         | 7,501    | (自己株式)          | △2,549  |
| 長期差入保証金      | 14,906   | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | 3,096   |
| 長期前払費用       | 1,585    | その他有価証券評価差額金    | 3,095   |
| 繰延税金資産       | 3,246    | 繰延ヘッジ損益         | 1       |
| その他の投資その他の資産 | 1,980    | 純 資 産 合 計       | 111,763 |
| 貸倒引当金        | △1,456   | 負 債 純 資 産 合 計   | 583,222 |
| 資 産 合 計      | 583,222  |                 |         |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

# 損益計算書

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

| 科 目          | 金     | 額         |
|--------------|-------|-----------|
| 売上高          |       | 2,208,705 |
| 売上原価         |       | 2,050,362 |
| 売上総利益        |       | 158,342   |
| 販売費及び一般管理費   |       | 143,753   |
| 営業利益         |       | 14,588    |
| 営業外収益        |       |           |
| 受取利息         | 294   |           |
| その他の営業外収益    | 4,274 | 4,569     |
| 営業外費用        |       |           |
| 支払利息         | 147   |           |
| その他の営業外費用    | 2,084 | 2,232     |
| 経常利益         |       | 16,926    |
| 特別利益         |       |           |
| 抱合せ株式消滅差益    | 2,152 |           |
| 投資有価証券売却益    | 1,362 |           |
| 固定資産売却益      | 1,029 |           |
| その他の特別利益     | 131   | 4,675     |
| 特別損失         |       |           |
| 経営統合関連費用     | 938   |           |
| 減損損失         | 556   |           |
| その他の特別損失     | 318   | 1,814     |
| 税引前当期純利益     |       | 19,787    |
| 法人税・住民税及び事業税 | 7,039 |           |
| 法人税等調整額      | △261  | 6,777     |
| 当期純利益        |       | 13,009    |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

招集ご通知

事業報告

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

# 株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

(単位：百万円)

|                             | 株 主 資 本 |             |        |                       |             |        |                 |                  | 株主資本<br>合計 |      |                                      |
|-----------------------------|---------|-------------|--------|-----------------------|-------------|--------|-----------------|------------------|------------|------|--------------------------------------|
|                             | 資本金     | 資 本 剰 余 金   |        |                       | 利 益 剰 余 金   |        |                 |                  |            | 自己株式 |                                      |
|                             |         | 資<br>準<br>備 | 本<br>金 | そ<br>の<br>他<br>本<br>金 | 利<br>準<br>備 | 益<br>金 | そ の 他 利 益 剰 余 金 |                  |            |      |                                      |
|                             |         |             |        |                       |             |        | 圧縮記帳<br>積立金     | 別<br>積<br>立<br>金 |            |      | 途<br>線<br>越<br>利<br>益<br>剰<br>余<br>金 |
| 平成24年4月1日残高                 | 10,630  | 10,400      | 23,270 | 628                   | 1,019       | 43,700 | 11,129          | △2,548           | 98,230     |      |                                      |
| 事業年度中の変動額                   |         |             |        |                       |             |        |                 |                  |            |      |                                      |
| 剰余金の配当                      |         |             |        |                       |             |        | △2,571          |                  | △2,571     |      |                                      |
| 当期純利益                       |         |             |        |                       |             |        | 13,009          |                  | 13,009     |      |                                      |
| 圧縮記帳積立金の取崩                  |         |             |        |                       |             | △254   | 254             |                  | －          |      |                                      |
| 別途積立金の積立                    |         |             |        |                       |             |        | 7,500           | △7,500           | －          |      |                                      |
| 自己株式の取得                     |         |             |        |                       |             |        |                 | △0               | △0         |      |                                      |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額(純額) |         |             |        |                       |             |        |                 |                  |            |      |                                      |
| 事業年度中の変動額合計                 | －       | －           | －      | －                     | △254        | 7,500  | 3,192           | △0               | 10,437     |      |                                      |
| 平成25年3月31日残高                | 10,630  | 10,400      | 23,270 | 628                   | 765         | 51,200 | 14,322          | △2,549           | 108,667    |      |                                      |

|                             | 評 価 ・ 換 算 差 額 等          |               |                     | 純 資 産 合 計 |
|-----------------------------|--------------------------|---------------|---------------------|-----------|
|                             | そ の 他 有 価 証 券<br>評 価 差 額 | 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計 |           |
| 平成24年4月1日残高                 | 917                      | －             | 917                 | 99,147    |
| 事業年度中の変動額                   |                          |               |                     |           |
| 剰余金の配当                      |                          |               |                     | △2,571    |
| 当期純利益                       |                          |               |                     | 13,009    |
| 圧縮記帳積立金の取崩                  |                          |               |                     | －         |
| 別途積立金の積立                    |                          |               |                     | －         |
| 自己株式の取得                     |                          |               |                     | △0        |
| 株主資本以外の項目の<br>事業年度中の変動額(純額) | 2,177                    | 1             | 2,178               | 2,178     |
| 事業年度中の変動額合計                 | 2,177                    | 1             | 2,178               | 12,616    |
| 平成25年3月31日残高                | 3,095                    | 1             | 3,096               | 111,763   |

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成25年5月13日

三菱食品 株式会社  
取締役会 御中

#### 有限責任監査法人 トーマツ

|                    |       |   |   |   |   |   |
|--------------------|-------|---|---|---|---|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 日 | 下 | 靖 | 規 | Ⓔ |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 山 | 田 |   | 円 | Ⓔ |

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、三菱食品株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

#### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

招集  
通知

事業  
報告

計算  
書類

監査  
報告

株主  
総会  
参考  
書類

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱食品株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成25年5月13日

三菱食品 株式会社  
取締役会 御中

#### 有限責任監査法人 トーマツ

|                    |       |   |   |   |   |   |
|--------------------|-------|---|---|---|---|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 日 | 下 | 靖 | 規 | Ⓜ |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 山 | 田 | 円 | Ⓜ |   |

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、三菱食品株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの平成24年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

招集  
通知

事業  
報告

計算  
書類

監査  
報告

株主  
総会  
参考  
書類

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの平成24年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の結果、監査役全員の一一致した意見として本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、監査部その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社に対し事業の報告を求め、その業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成25年5月20日

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 三 菱 食 品 株 式 会 社   | 監 査 役 会 |
| 常 勤 監 査 役 川 口 和 哉 | Ⓔ       |
| 常 勤 監 査 役 國 分 正 道 | Ⓔ       |
| 監 査 役 増 一 行       | Ⓔ       |

(注) 常勤監査役川口和哉及び監査役増一行は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

(注) 監査役樋口一夫は、平成24年12月22日に逝去により退任いたしました。

以 上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金処分の件

当事業年度の期末配当につきましては、安定的な配当の維持、当事業年度の業績、今後の事業展開等を勘案いたしまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

また、内部留保資金につきましては、一段の企業体質の強化と今後の事業展開資金として活用し、業績の向上に努める所存であります。

#### 1. 期末配当に関する事項

##### (1) 配当財産の種類

金銭といたします。

##### (2) 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき22円といたしたいと存じます。

なお、この場合の配当総額は1,257,102,990円となります。

これにより当期は20円の間配当を実施いたしましたので、年間の配当金は1株につき2円増配の42円となります。

##### (3) 剰余金の配当が効力を生じる日

平成25年6月28日といたしたいと存じます。

#### 2. その他の剰余金の処分に関する事項

##### (1) 増加する剰余金の項目とその額

別途積立金 10,500,000,000円

##### (2) 減少する剰余金の項目とその額

繰越利益剰余金 10,500,000,000円

招集  
ご通知

事業  
報告

計算  
書類

監査  
報告

株主  
総会  
参考  
書類

## 第2号議案 取締役7名選任の件

本総会終結の時をもって取締役全員（6名）は任期満了となります。

また、当社の取締役であった森山 透氏は平成25年3月31日付で辞任により退任しております。

つきましては、取締役7名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)           | 略歴<br>(地位及び担当並びに重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 所有する当社の株式数 |
|-------|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | 井上 彪<br>(昭和20年9月24日生)  | 昭和45年4月 三菱商事(株)入社<br>平成12年4月 同社食品本部長<br>平成13年6月 同社執行役員食品本部長<br>平成14年4月 同社常務執行役員生活産業グループCOO<br>平成14年11月 当社取締役<br>平成15年6月 三菱商事(株)代表取締役(兼)常務執行役員生活産業グループCEO<br>平成18年4月 同社代表取締役(兼)副社長執行役員<br>平成19年3月 当社取締役退任<br>平成22年6月 三菱商事(株)常任顧問<br>平成23年4月 当社常任顧問<br>平成23年6月 三菱商事(株)常任顧問退任<br>平成23年6月 当社代表取締役社長<br>平成24年4月 当社代表取締役社長・CEO(現任) | 4,600株     |
| 2     | 今村 忠如<br>(昭和27年1月31日生) | 昭和50年4月 三菱商事(株)入社<br>平成12年4月 同社水産部長<br>平成13年4月 同社食品本部鮪ユニットマネージャー<br>平成15年6月 (株)マルイチ産商代表取締役副社長<br>平成17年6月 同社代表取締役社長<br>平成19年3月 同社代表取締役社長退任<br>平成19年4月 明治屋商事(株)顧問<br>平成19年6月 同社代表取締役社長<br>平成23年7月 当社取締役(兼)専務執行役員・総合企画本部長<br>平成24年4月 当社取締役(兼)専務執行役員・低温事業本部長(現任)                                                                 | 1,800株     |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                       | 略歴<br>(地位及び担当並びに重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する当社の株式数 |
|-------|------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 3     | しまだ よしゆき<br>島田美幸<br>(昭和24年2月19日生)  | 昭和46年3月 (株)サンエス入社<br>昭和62年11月 同社取締役<br>平成2年2月 同社常務取締役<br>平成4年3月 同社専務取締役<br>平成13年2月 同社取締役副社長<br>平成16年4月 同社代表取締役社長<br>平成23年7月 当社取締役(兼)常務執行役員・菓子事業本部長(現任)                                                                                                                                                                                                                                 | 45,431株    |
| 4     | の だ よう いち<br>野田洋市<br>(昭和24年10月4日生) | 昭和47年4月 野田喜商事(株)入社<br>平成13年7月 当社金沢支店長<br>平成16年4月 (株)関西リョーシヨクリカー専務執行役員営業本部長<br>平成19年3月 当社執行役員<br>平成19年4月 当社執行役員・九州支社長<br>平成20年4月 当社執行役員・九州エリア代表(兼)九州支社長<br>平成22年3月 当社常務執行役員・関西エリア代表(兼)関西支社長<br>平成23年7月 当社執行役員・関西エリア統括(兼)関西支社長<br>平成24年4月 当社常務執行役員・酒類事業本部長<br>平成25年4月 当社専務執行役員・酒類事業本部長(現任)                                                                                               | 0株         |
| 5     | なか むら みのる<br>中村稔<br>(昭和26年10月9日生)  | 昭和49年4月 北洋商事(株)入社<br>平成10年4月 当社千葉支店長<br>平成16年3月 (株)関東リョーシヨク代表取締役社長<br>平成18年1月 当社中部支社長<br>平成18年3月 当社取締役・中部支社長<br>平成18年9月 当社取締役退任<br>平成18年10月 当社執行役員・中部支社長<br>平成21年3月 当社常務執行役員・関東エリア代表(兼)東京支社長<br>平成23年7月 当社執行役員・関東エリア統括(兼)関東第一支社長(兼)関東第二支社長<br>平成24年4月 当社常務執行役員・関東支社長(現任)<br>〔重要な兼職の状況〕<br>(株)関東リョーシヨク 取締役<br>(株)千葉リョーシヨク 取締役<br>(株)新潟リョーシヨク 取締役<br>関東明治屋商事(株) 取締役<br>(株)中信コーポレーション 取締役 | 4,200株     |

招集ご通知

事業報告

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                          | 略歴<br>(地位及び担当並びに重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 所有する当社の株式数 |
|-------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 6     | すずき だいちろう<br>鈴木 大一郎<br>(昭和31年8月29日生)  | 昭和54年4月 三菱商事(株)入社<br>平成20年5月 同社新産業金融事業グループコントローラー<br>平成22年4月 同社新産業金融事業グループ管理部長<br>平成23年4月 三菱商事フィナンシャルサービス(株)代表取締役社長<br>平成25年4月 当社常務執行役員・職能部門担当役員・CFO(兼)コンプライアンス担当役員(兼)財務経理本部長(現任)                                                                                                                                                            | 0株         |
| 7     | かき うち たけ ひこ<br>垣内 威彦<br>(昭和30年7月31日生) | 昭和54年4月 三菱商事(株)入社<br>平成13年4月 同社食糧本部ホワイトミートユニットマネージャー<br>平成15年4月 同社食糧本部ホワイトミートユニットマネージャー(兼)レッドミートユニットマネージャー<br>平成18年4月 同社生活産業グループCEOオフィス室長<br>平成20年4月 同社農水産本部長<br>平成22年4月 同社執行役員農水産本部長<br>平成23年4月 同社執行役員生活産業グループCEOオフィス室長(兼)農水産本部長<br>平成25年4月 同社常務執行役員生活産業グループCEO(現任)<br>[重要な兼職の状況]<br>(株)ローソン 取締役<br>日本ケンタッキー・フライド・チキン(株) 取締役<br>(株)オーケー 取締役 | 0株         |

- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。  
2. 垣内威彦氏は、社外取締役候補者であります。  
3. 垣内威彦氏は、当社の親会社である三菱商事(株)の常務執行役員生活産業グループCEOであります。  
4. 垣内威彦氏は、当社の親会社である三菱商事(株)の常務執行役員を務めており、同社での豊富な経験と高い見識に基づき、当社の経営全般に助言をいただくことで、当社の経営体制が更に強化できると判断し、社外取締役として選任をお願いするものであります。  
5. 鈴木大一郎氏は、平成25年6月13日をもって(株)ファイネットの取締役に就任予定であります。  
6. 垣内威彦氏は、平成25年6月12日をもって日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)の取締役に退任予定であります。



### 第3号議案 監査役3名選任の件

本総会終結の時をもって監査役國分正道氏は任期満了となります。

また、監査役樋口一夫氏は、平成24年12月22日に逝去により退任し、監査役増 一行氏は本総会終結の時をもって辞任されることになりました。

つきましては、監査役3名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                     | 略歴<br>(地位及び重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                               | 所有する当社の株式数 |
|-------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | こくぶまさみち<br>國分正道<br>(昭和27年3月31日生) | 昭和49年4月 北洋商事(株)入社<br>平成11年3月 当社経営・システム本部経営企画室長<br>平成18年3月 当社取締役・経営・システム本部長<br>平成18年9月 当社取締役退任<br>平成18年10月 当社執行役員・経営・システム本部長<br>平成20年4月 当社執行役員・社長室長<br>平成21年4月 当社執行役員・管理本部副本部長<br>平成22年3月 当社監査役(常勤)(現任)                                                             | 5,600株     |
| 2     | かみがきせいすい<br>神垣清水<br>(昭和20年7月1日生) | 昭和48年4月 東京地方検察庁検事<br>平成2年4月 法務省刑事局参事官<br>平成11年4月 東京高等検察庁刑事部長<br>平成11年12月 最高検察庁検事<br>平成12年10月 那覇地方検察庁検事正<br>平成14年6月 宇都宮地方検察庁検事正<br>平成15年9月 最高検察庁総務部長<br>平成16年12月 千葉地方検察庁検事正<br>平成17年8月 横浜地方検察庁検事正<br>平成19年7月 公正取引委員会委員<br>平成24年7月 弁護士登録<br>平成24年7月 日比谷総合法律事務所入所(現任) | 0株         |

| 候補者<br>番号 | 氏 名<br>( 生 年 月 日 )                     | 略 歴<br>(地位及び重要な兼職の状況)                                                                                                                                                   | 所有する当社<br>の 株 式 数 |
|-----------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 3         | おお ぬま なお と<br>大 沼 尚 人<br>(昭和32年5月13日生) | 昭和55年4月 三菱商事(株)入社<br>平成20年4月 同社化学品グループコントローラー<br>平成22年4月 同社化学品グループ管理部長<br>平成25年4月 同社生活産業グループ管理部長(現任)<br>[重要な兼職の状況]<br>日本農産工業(株) 監査役<br>三菱商事ファッション(株) 監査役<br>明和産業(株) 監査役 | 0株                |

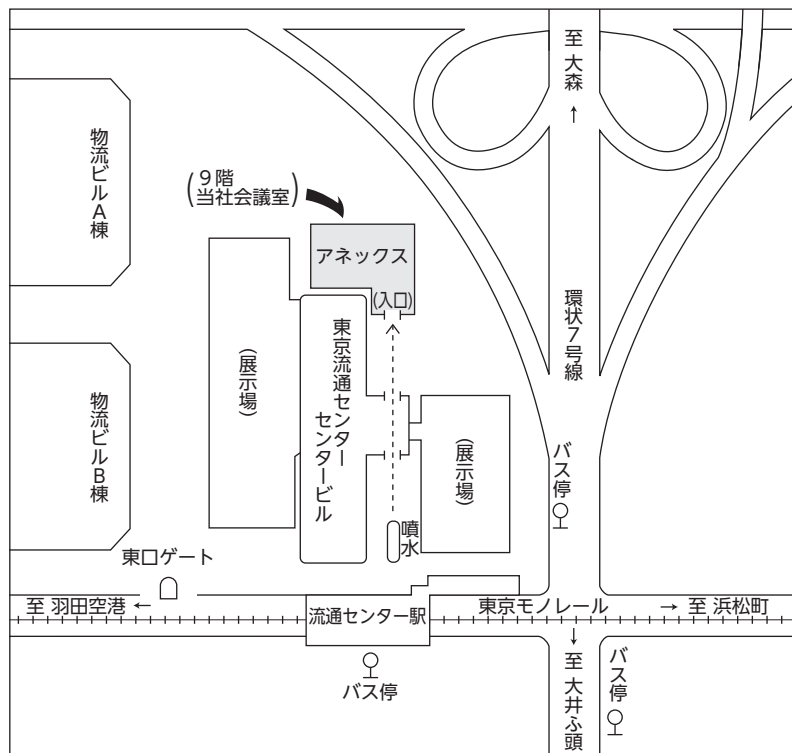
- (注) 1. 各候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
2. 神垣清水、大沼尚人の両氏は、社外監査役候補者であります。
3. 神垣清水氏は、弁護士としての経験・知識に基づき、客観的・中立的な立場から、当社の監査役としての責務を果たしていただけると判断し、社外監査役として選任をお願いするものであります。
4. 大沼尚人氏は、当社の親会社である三菱商事(株)の生活産業グループ管理部長であります。
5. 大沼尚人氏は、当社の親会社である三菱商事(株)の部長を務めており、同社での豊富な経験と高い見識に基づき、適切な監督を得ることにより監査体制の強化を図ることができると判断し、社外監査役として選任をお願いするものであります。
6. 神垣清水氏は、平成25年6月25日のアルフレッサホールディングス(株)の株主総会において監査役に就任予定であります。
7. 大沼尚人氏は、平成25年6月12日の日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)の株主総会において監査役に就任予定であります。
8. 大沼尚人氏は、平成25年6月25日の(株)日本ケアサプライの株主総会において監査役に就任予定であります。
9. 大沼尚人氏は、平成25年6月26日の日本食品化工(株)の株主総会において監査役に就任予定であります。
10. 大沼尚人氏は、平成25年6月27日の日東富士製粉(株)の株主総会において監査役に就任予定であります。
11. 大沼尚人氏は、平成25年6月27日をもって明和産業(株)の監査役を退任予定であります。
12. 神垣清水氏の選任が承認された場合、当社は同氏との間で、会社法第427条第1項に定める責任限定契約を締結する予定であります。責任限定契約の内容の概要は、次のとおりであります。
- 社外監査役は、会社法第423条第1項の責任について、
- ①その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないとき、
- ②会社法第425条第1項に定める最低責任限度額を限度として、当社に対して損害賠償責任を負う。
13. 神垣清水氏は、(株)東京証券取引所の規程に定める独立役員候補者であります。

以 上

メ モ

A series of horizontal dashed lines for writing, consisting of 18 lines.

## 株主総会会場ご案内図



会 場：東京都大田区平和島六丁目1番1号  
東京流通センター アネックス9階・当社会議室

交 通：・モノレール… J R浜松町駅から東京モノレール「羽田空港第2ビル」駅行きで「流通センター」駅下車

(注) 空港快速は停車いたしませんのでご注意ください。

- ・バ ス…① J R京浜東北線大森駅東口から京急バス「大田市場」「平和島循環」「京浜島循環」「城南島循環」行きで「流通センター前」下車
- ② 京浜急行平和島駅から京急バス「大田市場」「京浜島循環」「城南島循環」行きで「流通センター前」下車

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。